

急速に発展／変化をとげるアジア・アフリカ諸社会における経済格差、都市化、そして紛争経験後に直面する家族の変容

11月4日

ウガンダにおける家族のいま：経済格差、都市化、紛争を経験して

13:00 開会

13:05-13:35

大平和希子（日本学術振興会／東京大学大学院博士課程）

ブニョロの石油開発と世帯レベルへの影響：土地をめぐる争いの増加と土地ガバナンスの重要性

13:40-14:10

村橋勲（日本学術振興会/京都大学）

南スーダン難民における「家族」の再編と生計の多様化—ウガンダのキリヤンドンゴ難民居住地の事例から

14:20-14:50

休憩

14:50-15:20

橋本栄莉（高千穂大学）

脆弱な「血」に対処する方法：ウガンダにおけるヌエル人難民の家族と結婚をめぐるジレンマ

15:30-16:00

クリス・オペセン（マケレレ大学）

「ポコットの男は国境の両側に一人か二人の妻をもつ」：ケニア・ウガンダ国境におけるポコット人の一夫多妻家族にかんする民族誌的言説

16:10-16:40

白石壮一郎（弘前大学）

移住、教育、家族関係／ギャップ：家族の断片

：1960年代～1990年代のウガンダとケニアの国境地帯の歴史

16:50-17:20

波佐間逸博（長崎大学）

祖母との生活—ドドス社会の世代間関係

17:30-18:00

ディスカッション

コメント：

ンデグワ・ムンディア(デダン・キマティ技術大学)

カルシガリラ イアン (東京外国語大学大学院博士課程)

18:30-

ディナー

11月5日(日) アフリカ都市、アジアにおける変化する居住環境と「家族」の暮らし

9:30-10:00

ンデグワ・ムンディア(デダン・キマティ技術大学)

経済格差、都市化に直面したナイロビの開発に関する分析」

10:10-10:40

井本 佐保里 (東京大学大学院工学系研究科建築学専攻・復興デザイン研究体)

ナイロビスラムにおけるノンフォーマルスクールの空間生成プロセス

10:40-10:50

休憩

10:50-11:20

イマヌエル カマラ ゴンベ (東京情報大学, 地球・自然環境コース, M2), ユニス ンドウアティ (千葉大学理学部地球科学科, D2)

ダルエスサラームにおける都市化の動向と影響に関する GIS とリモートセンシング評価

11:30-12:00

ユニス ンドウアティ (千葉大学理学部地球科学科, D2)

日本の作付制度のマッピングとモニタリングに GIS とリモートセンシングを応用した提示位置からみえること

12:10-13:10 Lunch

13:10-13:40

楊非凡 (東京農工大学大学院) ・ 聶海松 (東京農工大学)

中国の人口問題：1900 人の社会学的調査に基づいて

13:50~14:20

ディック・オランゴ (AOAD(ATELIER OLANGO ARCHITECTURE/DESIGN))

ナイロビスラムにおけるトイレの状況、衛生と進行中のイノベーション

14:30-14:40

休憩

14:50-15:20

野口靖 (東京工芸大学) 「ナイロビ・スラム住民の居住環境と生き方：コンパクト・ハウス・プロジェクトを通して」

15:30-16:00

椎野若菜 (東京外国語大学 AA 研) 「ナイロビのハウスガールが支える『家族』事情」

16:10-16:30

質疑応答、ディスカッション

コメント：クリス・オベセン (マケレレ大学)

16:30 閉会